

# 競技注意事項

**「参加チームへの連絡」を確認し、競技運営にご協力ください。**

自然災害や感染症拡大状況等によっては、大会中止または、大会中であっても中断（中止）する場合があります。

## 1. 競技規則について

本大会は、2023年 公益財団法人日本陸上競技連盟競技規則ならびに本大会要項及び競技注意事項、申し合わせ事項によって実施する。

## 2. 練習について

練習は係員の指示により実施する。

原則として、その日に競技のある選手のみとする。

(1) 本トラックでの練習は競技開始30分前まで開放するが、出場選手のみとする。  
フィールド競技の各ピットは、競技に支障がない範囲で、開放するが競技役員の指示に従って使用すること。

(2) 直線走路および、バックストレート外側を常時開放する。直線競技実施時には、バックストレートの一部を開放する。

雨天走路は、荒天時以外は開放しない。荒天時に開放する場合は、アナウンスで連絡する。ただし、走幅跳の競技中の動きづくり等は可とする。

(3) 投てき競技種目の練習は、投てきピットのみとし、投てきピット以外での練習は、メディシンボール等も含め禁止とする。

※フィールド競技は、招集完了時間を競技開始の60分前とし、ピットでの練習時間を設ける。

※競技注意事項を厳守し、事故の無いように行うこと。

## 3. 招集及び入退場について

招集所は北器具庫および第2ゲート内（100mスタート後方）とする。棒高跳は現地集合とする。

(1) 招集時刻は競技開始時刻を基準として下記の通りとする。

トラック競技は、競技開始20分前招集完了。

フィールド競技は以下のとおりとする。

砲丸投 競技開始30分前招集完了。

走幅跳・走高跳 競技開始60分前招集完了。

棒高跳 競技開始60分前現地招集とする。

(2) 招集手順

① 招集開始時刻から完了時刻までの間に招集所で、競技役員にアスリートビブスとスパイク（シューズ）、衣類及び競技場内への持ち込み物品等の確認を受ける。代理人による最終点呼は認めない。（800m以上のトラック種目は、腰No標識を受け取る。）

② 最終点呼後、各自でトラックのスタート地点、フィールドはピットに移動する。

(3) 招集の注意事項

① 出場すべき競技種目を欠場する場合は、招集完了時刻前までに招集所の競技者係に届けを提出する。

② 招集時刻に遅れたり競技者係からのチェックを受けなかった場合、欠場したものとして処理される。

(4) 入退場は係員の指示に従う。競技が終了した競技者は、第4ゲートより競技場外へ退場する。

## 4. アスリートビブスについて

各競技者は、プログラムに記載された番号と同じ番号のアスリートビブス（24cm

×16 cm以内)を、競技用ユニフォームの胸部と背部につける。男子は黒字、女子は赤字とする。

- (1) 跳躍競技に出場する競技者は胸部または背部どちらか片方でもよい。
- (2) 800 m以上の競技に出場する競技者はシールタイプの腰ナンバー標識をパンツの右側後方につける。腰ナンバー標識は招集所で配布し、回収はしない。

## 5. 競技運営について

本大会は下記の主な留意事項に基づいて運営する。

- (1) 競技運営上、競技日程及びピットを変更することがある。また、地震・雷雨等の自然災害やJアラート発動の際は、競技を中断し安全が確認された後に再開する。
- (2) トラック及びフィールド内にはその競技を行う競技者並びに役員（審判および該当補助員）以外は立ち入ることはできない。フィールド競技はコーチングエリアを設ける。競技者とコーチがコミュニケーションをとる場合のみとし、エリア内に常駐しないこと。
- (3) 競技者がカセットレコーダー、ラジオ、CD、トランシーバーや携帯電話もしくは類似の機器を競技場内に持ちこんだり使用したりすることはできない。(TR6.3.2) 腕時計を装着する場合は通信機能をオフにすること。
- (4) トラック競技の着順及び計時は原則として写真判定で行う。
- (5) タイムにより次のラウンドの出場者を決める場合、写真判定主任が同記録者の写真を拡大して0.001秒単位の時間を判定して進出者を決める。それでも決められない場合は当該競技者の抽選とする。(TR21.5)
- (6) セパレートレーンで行うトラック競技では、競技者は安全確保のためフィニッシュライン通過後も自分の割り当てられたレーン（曲走路）を走り、他の競技者の妨害をしない。
- (7) 男女100 m、男子110 mH、女子100 mHは、第1レースの結果、上位記録16名が第2レースに進出する。
- (8) フィールド競技における競技場内での練習は審判員の指示により行う。
- (9) 走幅跳、棒高跳に出場する競技者は助走路の外側に主催者の準備したマーカーを2個までおくことができる。
- (10) 走幅跳、砲丸投は3回の試技後、トップエイトで3回の試技を行う。
- (11) 棒高跳びに出場する競技者は支柱を自分の希望する位置に移動してもよい。
- (12) 各レースで不正スタートは、一度の不正スタートでも責任を有する競技者は失格とする。スタートの合図については英語で行う。  
※スタート時の不適切行為に関しては審判長によって警告「イエローカード」を与えられることがある。2枚の「イエローカード」の提示を受けた競技者には「レッドカード」が提示され、当該種目のみを失格とする。ただし、競技会からは除外しない。(TR16.7,TR16.8,TR39.8.3)
- (13) スタートリストおよび競技注意事項等は、プログラムまたはWebサイトから確認すること。競技結果(記録)は、Webサイトから確認すること。なお、次ラウンドへの進出者一覧は、正面玄関前と招集所付近に掲示予定。

## 6. 走高跳、棒高跳におけるバーの上げ方について

種目	性別	競 技	練 習
走高跳 決勝	男	1m35-40-45-50-55-60-65 (68-71-74-77・・・) 以後3 cmきざみ	1m30 1m55
	女	1m20-25-30-35-40-45 (48-51-54-57・・・) 以後3 cmきざみ	1m15 1m40
	女	1m20 - 25 - 30 - 35 以後3 cmきざみ (38-41-44-47・・・)	1m15 1m30
棒高跳	男	2m10 - 20 - 30 以後10 cmきざみ (90-3m00-10-20・・・)	2m00 3m00

- (1) 天候その他の関係で変更することがある。
- (2) 第1位を決めるためのバーの上げ下げは、走高跳で2 cm、棒高跳で5 cm刻みと

する。

(3) 走高跳，棒高跳の練習の高さは，希望により2段階で行う。

(4) 競技場設置の滑り止め（炭酸マグネシウム等）は，感染防止のため共用しないので，必要な競技者は，各自で準備すること。

## 7, スパイク（シューズ）等の制限

(1) WA承認リストにあるシューズを使用していることを前提に招集所や受付にてチェックを行わない。ただし，審判や審判長の権限により求められた場合はシューズをチェックする。TR5.13.3（国内TR5.2）

(2) 本競技場におけるスパイクピンの数は11本以内とする。また，スパイクピンの長さは9mm以内とする。ただし，走高跳については12mm以内とし先端の直径は4mm以内でなければならない。(TR5.3,TR5.4,TR5.5,TR5.6)

(3) フィールド競技用シューズのTR5.5 適応除外措置について

2023年3月31日までは，市販されているフィールド競技用のシューズについては適応除外となる。

## 8, 抗議について(TR8)

(1) 競技の結果または行為に関する抗議は，その種目の正式発表後30分以内に監督が直接審判長に口頭で申し出なければならない。

(2) 次のラウンドが行われる競技種目ではその結果が正式に通告されてから15分以内に申し出なければならない。

(3) 裁定に不服の場合は委託金（1万円）を添え，総務員を通じてジュリーに文書で申し出る。なお，ジュリーの裁定が最終決定となる。

## 9, その他

(1) 救護本部は雨天走路内の医務室に設置する。応急処置は行うが，以後の責任は負わない。

(2) 商標について

商標などの規定については，「競技会における広告及び展示物に関する規定」を遵守すること。これに違反した場合は，主催者で処理する。

(3) 応援・観戦について

① 声を出して応援する際は，マスクの着用を推奨する。集団での応援は自粛すること。

② スタンドで観戦する際は，フィジカルディスタンスを意識すること。

③ 通路での観戦は禁止とする。また，競技の進行の妨げにならないよう注意すること。

(4) 応援横幕・のぼり旗の設置について

メインスタンド最上段，バックスタンド・サイドスタンド最上部のみ可。

(5) 室内走路及び通路に敷物を利用し，場所を確保して待機場所として利用することを禁止する。また，更衣室内に常駐することは禁止する。

(7) ゴミは原則として各校で持ち帰ること。

(8) 置き引き，盗難等の発生する恐れがあるので各自持ち物や貴重品の管理に十分注意する。

(9) 本部は雨天走路中央のダックアウトに設置する。不明な点は，大会本部に問い合わせること。